

不撓不屈

宜野湾市立 普天間 中学校
 平成30年度学校だより 第1号
 ～文武両道に不撓不屈の精神で励む～
 平成30年4月18日 校長 又吉直正

～文武両道に不撓不屈の精神で励む 普天間中学校の生徒の成長に汗を流します～

今年度4月1日付けで普天間中学校第24代目の校長を拝命しました、又吉直正と申します。約40年前に普天間中学校の1年生として私も普中生の一員でありました。正門を抜けると見えてくる「立志の像」や運動場、女生徒の制服など、当時の学生時代と変わらぬままであり、非常に懐かしく思うと同時に誇らしく思います。

さて、学校だよりにある「不撓不屈」のネーミングについてですが、これは本校の校歌の第三番の歌詞の中にある「不撓不屈の若人よ～」から名付けました。実はこの「不撓不屈の～」の歌詞の部分は、校歌が作詞された当時（昭和23年～）、「集う五百の若人よ～」でありました。その当時の生徒数が500名程度であったことがわかります。その後、普天間を中心に人口の増加や都市化現象により昭和37年に宜野湾市が誕生してからは、この歌詞の部分が「集う千五百の～」そして「集う千六百の～」と変化をしながら歌い継がれてきました。この歌詞の変化は平成元年の「集う千二百の～」まで続いた後、時代の在籍生徒数に合わせることを止め、平成2年から「不撓不屈の若人よ～」として今現在に至っています。今年度は総生徒数が662名ですが、みんなで力を合わせ、予測の難しい未来社会において、まさに「不撓不屈」の精神で自ら学び続け、普天間中学校の生徒が将来どのような困難に直面しても、ひるむことなく逞しく生きていけることを期待して「不撓不屈」を学校便りのタイトルにしました。学校の歴史と誇りを胸に一人ひとりの生徒が自己実現にじっくり取り組むことができるよう、今後とも保護者・地域の皆さまのお力添えをよろしく願いいたします。



～頼もしい新入生～

4月も半分が過ぎ、新1年生も入学式の時の不安感から少し解放され、日増しに明るく元気な姿を見せられるようになりました。中学校での新しい学びの環境にようやく慣れはじめた今、生徒達は心地よい緊張感を保ちながら毎日楽しく学校生活を過ごしているようです。1年生の朝登校の風景を観察していて感じることは、早登校の生徒が多いことです。本校では、教室への入室時間を8時10分を奨励時間としていますが、ほとんどの新入生は奨励時間の5分前には入室ができています。この調子で1年を乗り越えていって欲しいと思います。頑張れ1年生！！



－1年4組の学校開きの様子－

◆各学年の先生方を紹介します。

- 1年1組 担任 真島 円子 先生
- 1年2組 担任 玉那覇 静子 先生
- 1年3組 担任 小浜 廉 先生
- 1年4組 担任 與世田 兼佑子 先生
- 1年5組 担任 田場 典子 先生
- 1年6組 担任 吉田 麻衣子 先生
- 2年1組 担任 伊波 要子 先生
- 2年2組 担任 上地 みこと 先生
- 2年3組 担任 世嘉 良学 先生
- 2年4組 担任 山城 知子 先生
- 2年5組 担任 仲宗根 一優 先生
- 2年6組 担任 外間 勝 先生
- 3年1組 担任 安里 優一 先生
- 3年2組 担任 當間 大雅 先生
- 3年3組 担任 伊波 彰矩 先生
- 3年4組 担任 宮里 忠 先生
- 3年5組 担任 下里 喜久子 先生
- 3年6組 担任 与那城 智幸 先生
- 通級指導教室 中村 高一 先生
- 8組 担任 花城 康 先生
- 9組 担任 山川 米子 先生
- 10組 担任 上原 綾乃 先生

◆今年度の部活動顧問が決まりました。

- ①野球部 → 花城 康 与那嶺 智幸 當間 大雅
- ②サッカー → 比嘉 達也 津波 古みつね
- ③男バレ → 仲本 賢一郎 宮城 健
- ④女バレ → 金城 博泰 伊波 彰矩
- ⑤男バス → 宮里 忠 岸本 亮子
- ⑥女バス → 小浜 廉 上地 みこと
- ⑦卓球(男) → 野島 崇 與世田 兼佑子
- ⑧卓球(女) → 吉田 麻衣子 田場 典子
- ⑨ハンド(男) → 又吉 桂三 嶋倉 利枝
- ⑩ハンド(女) → 真島 円子 嶋倉 利枝
- ⑪テニス(男) → 仲宗根 一優 新垣 盛隆
- ⑫テニス(女) → 安里 優一 比嘉 一寿
- ⑬バドミントン → 中村 高一 世嘉 良学 堀田 朋代
- ⑭陸上 → 外間 勝 伊波 要子
- ⑮吹奏楽 → 山川 米子 山城 知子
- ⑯空手道 → 下里 喜久子 上原 綾乃
- ⑰水泳 → 比嘉 一寿
- ⑱ダンス同好会 → 當間 大雅
- ⑲美術同好会 → 玉那覇 静子

